

# ICTニュース 1月号 針刺し事例

院内感染対策委員会 2024.1 発行

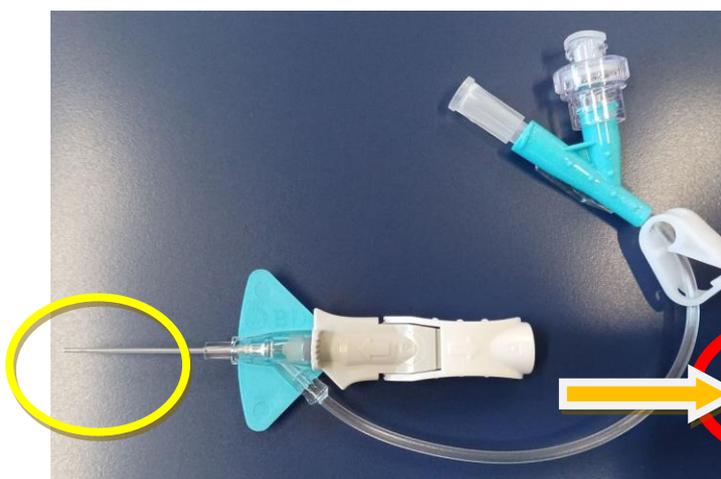
留置針の安全機能を作動させない事で針刺し事例が発生しています。

\*留置針 翼状針 **安全機能を作動させること!**

**この工程はどの場面でも必ず実施する**

\*針を扱う時は**必ず手袋装着(針刺しした時の血液曝露量減少)**

\*携帯用針捨てBOXは8割 いっぱいにはしないこと



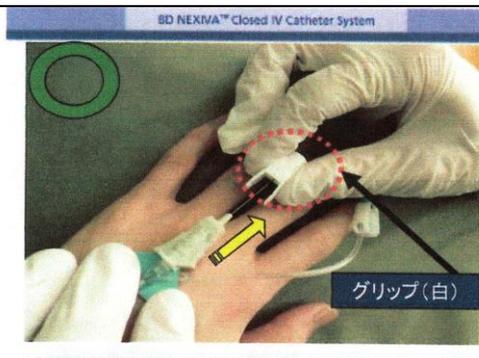
絶対に手では押し込まない!



**安全機能を作動させると鋭利な部分がカバーされます**

針を抜去したら、**必ず安全機能を作動させる!**

**留置に失敗しても、必ず安全機能を作動させる! 針を露出させたままにしない!**



固定用ウイングを2本の指でしっかり押さえ、フィンガークリップ(白)をまっすぐ後方へ引き抜きます。

※注意

フィンガークリップ(白)を上下・左右に引き抜かないでください。